

# 会 議 録

会議の名称	第1期 小金井市地域自立支援協議会（第5回）
事務局	福祉保健部障害福祉課、地域生活支援センターそら
開催日時	平成22年1月21日（木） 午後2時00分から午後4時00分
開催場所	小金井市市民会館（萌え木ホール）B会議室
出席者	<b>【委員】</b> 伊藤良子委員(会長)、越永至道委員、森田純司委員、大久保昌弘委員 矢野典嗣委員、秦郁江委員、山田満里子委員、久芳和孝委員、 中村悠子委員、経澤利子委員、佐久間育子委員(副会長) <b>【事務局】</b> 障害福祉課課長補佐 林利俊、相談支援係長 高田明良 障害福祉係 澤畠武士、相談支援係 幕田銀河 地域生活支援センターそら 施設長 熊倉弘子、伊藤奈保子
傍聴の可否	可
傍聴者数	0人
会議次第	別紙会議録のとおり
会議結果	別紙会議録のとおり
提出資料	添付のとおり

# 平成 21 年度第 5 回小金井市自立支援協議会 議事要旨

日時：平成 22 年 1 月 21 日(木) 14：00～16：00  
場所：小金井市市民会館（萌え木ホール） 3 階 B 会議室  
出席者：協議会委員 12 名（欠席 1 名）  
小金井市福祉保健部長  
障害福祉課相談支援係長  
障害福祉課障害福祉係  
障害福祉課相談支援係  
地域生活支援センター そら（2 名）

- 配布資料 1：自立支援協議会委員所属機関等の現状と課題等 → 事務局  
2：連絡会（ネットワーク）図 → 事務局  
3：小金井市障害児者教育・福祉ネットワーク関連図 → 矢野委員  
4：小金井市障害福祉関係機関ネットワーク図 → 事務局  
5：平成 21 年度第 3 回小金井市自立支援協議会 議事要旨  
6：平成 21 年度第 4 回小金井市自立支援協議会 議事要旨  
7：明日へのまつり（民族歌舞団荒馬座） → 矢野委員  
8：多摩府中保健所の保健相談事業について → 秦委員  
9：多摩府中保健所における対応事例（会議後回収） → 秦委員

開催にあたって、事務局より資料の確認。

## 1. 開会

伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"><li>・出席者 11 名（欠席 1 名）より、協議会は成立とする。</li><li>・はじめに、小俣福祉保健部長より挨拶。</li></ul>
小俣福祉保健部長	<ul style="list-style-type: none"><li>・今期最後の会議となる。</li><li>・支援費ができ、自立支援法ができ、そしてその自立支援法もそう遠くないうちに見直しされるということになっている。1/12 に政府では、障害者制度改革推進会議の第一回目が開催され、今年の夏までに制度改革の骨子を示すというように言われている。差別禁止法などについても政府は法制化に向けての準備をしていくものと思われる。当事者の方々に多大なご迷惑をかけながらも、施策そのものは着実に進んでいくと思われる。</li><li>・今年度の国の予算の内、障害福祉にかかる予算は 11%強増額となり、5500 億余～6100 億余になると聞いている。福祉の分野は、障害の分野に限らず、新政権の中で、一定の風が吹いてきている。それに乗って、区市町村もその施策を推し進めなければならないと思っている。</li><li>・どこの区市町村でも税収が落ち込んでおり、なかなか予算がたてられない。</li></ul>

	<p>現在、予算の最終段階に入っているが、おそらくこれまで市が持っていた貯金の半分である約 10 億円を取り崩すことになってしまうと思われる。市のレベルでなかなか予算を十分に配分することは難しいが、国の施策を活用しながら、地域の皆様が安心して暮らしていけるよう地域の施策作りに努めていきたいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年のお秋ぐらいから、新たな計画作りへと着手していくことになる。</li> <li>・今後も委員の皆様のご協力をお願いしたい。</li> </ul>
--	---

## 2. 議題

### (1) 自立支援協議会委員所属機関等の現状と課題について

伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに、秦委員より保健所の紹介をお願いしたい。</li> </ul>
秦委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料参照。今年の 2 月に北府中へと移転予定。6 市 96 万人の人口を対象。1 つの圏域で人口 100 万人を対象としていることは、全国でも珍しい状況。</li> <li>・難病対策は、国が特定疾患として定めている病気。神経難病の代表的なものとして、ALS（筋萎縮性側索硬化症）がある。人口 10 万人に 6 人ぐらいの発病率であったが、近年増加傾向。小金井市 11 万 4 千人の内、16 人ぐらいの申請があった。高齢化が進んでいることも理由のひとつになっている。</li> <li>・感染症対策、その中でも新型インフルエンザ対策については、国からの指導を東京都が受け、市役所と協力して行なっている。</li> <li>・30 代の女性の酒害相談が増加している。特に、武蔵野市や三鷹市。</li> <li>・6 市の中で、精神障害者の社会復帰のためのグループワークを実施しているのは、小金井市と調布市の二市のみ。相当の効果をあげている。</li> <li>・最近問題となってきているのは、発達障害圏の社会復帰について。保健所に寄せられるひきこもりの相談は、20 代～30 代の方。10 代からひきこもりとなっていて、現在 30 代・・・というような内容が親御さんから寄せられる。ようやく顔をあわせられるようになってもその先の展開が難しい。NPO 法人で「ひきこもりサポートネットワーク」というものもあるが、年代的に合わないということも多くある。もう少し高い年齢層のひきこもり対策が必要。長期化している方々の半分以上が、発達障害圏なのではないかということが最近わかってきた。統合失調症のグループワークは内省的に行なっても効果が出るが、発達障害圏は教育的なプログラムが必要になってくる。精神的に未熟な場合が多くある。本格的に 4 月から実施を検討している。</li> <li>・精神保健専門相談について、事例の紹介（会議終了後回収）。→ 省略。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広範囲にわたる内容だった。</li> <li>・これまで、委員から報告いただいた各施設、団体等の現状報告と課題、ネットワーク等について集約を行なう。それにあたり、本日配布した資料 1 について、内容の確認のため、5 分程時間をとるのでお目通しいただきたい。その後、修正など含めご意見をお願いしたい。</li> </ul>
一同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黙読し、確認。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の内容含め、事務局から説明をお願いしたい。</li> </ul>

事務局（熊倉）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1の課題の内容について説明。</li> <li>・前回の会議終了後、富澤委員と山田委員から追加記載のご連絡をいただいたため、会議内以外の内容も含まれている。</li> <li>・補足や訂正をお願いしたい。</li> </ul>
山田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後の進路がないと言い切って入るが、状況に見合った適切な進路先がないという表記に訂正をお願いしたい。</li> <li>・また、働き先というよりも、高齢者支援の必要性として、デイサービス等の行き場がないということ、すなわち高齢化された障害者の施策がないということとしてほしい。</li> <li>・内容の補足。さくら会の会については、全体として年に3～4回を予定ということであり、会としては1回程度の開催。</li> </ul>
事務局（熊倉）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・越永委員からの内容が抜け落ちてしまっていることについて謝罪。自立支援法についての情報提供に関する内容であったこと報告。</li> <li>・「連絡会(ネットワーク)図（資料参照）」は、これまで寄せられた内容についてまとめた図になっている。</li> </ul>
森田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「連絡会(ネットワーク)図（資料参照）」の中で、知的障害の中に聴覚障害に関する内容が入っているので、身体障害の間違えであること指摘。</li> </ul>
事務局（熊倉）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訂正をお願いします。知的障害の中にある「● 5者交流会」「● 小金井市聴覚障害者関連団体災害対策委員会」については、身体障害の記載となる。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「連絡会(ネットワーク)図（資料参照）」の共通部分にある「支援センター連絡会」について紹介をお願いしたい。</li> </ul>
佐久間副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害に関わらず、障害福祉課・介護福祉課・子育て支援課の3課にわたる支援センターの情報交換会として開催。開催頻度としては、年1～2回にて予定。地域包括支援センター・地域活動支援センター・自立生活支援センター・就労支援センター・子ども家庭支援センターが参加予定であり、それぞれ情報交換を行なう。同じ事例を扱っていることもある。困難事例の成功例などを情報交換する中で、それぞれの役割を認識することと合わせて支援の方法についての情報交換など、横のつながりを広げていくことを目的として作られた。</li> <li>・1月26日に第1回を開催。開催内容については、自立支援協議会の中で報告をさせていただく。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「小金井市障害児者教育・福祉ネットワーク関連図（資料参照）」について、矢野委員から資料の説明をお願いしたい。</li> </ul>
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成途中の段階ではある。学校教育と福祉教育の分かれたところで、それぞれがどのようにつながっていくのか示したものの、福祉関係の把握ができていない状況。</li> <li>・従来であれば個人があって、個人の関わりがそれぞれどのように関わっているのか見えてくるが、それでは最終的にどこが中心となってやっていけるのかという所で詰まってしまう。前回、中村委員からもあった「いろいろな所をたらい回しになってしまう」ということでは問題。</li> <li>・障害福祉課がどのように責任を持ちながら関わっていくのか。それを補うた</li> </ul>

	<p>めに、どのように政策へと反映させていくのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢は、介護保険法の枠組みしかなく、高齢者の問題について次回以降議論できれば、小金井市のネットワークが考えられるのではないか。</li> <li>・医療・福祉・教育としてはいるが、もう一つの軸として当事者団体も加えてもよいのではないかとも思う。保健所の関わりについても載せていきたい。</li> <li>・作成途中のため、ご意見をお願いしたい。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフスパンで考えられたものであり、今後のネットワーク作りのためにも、検討していきたい内容。</li> <li>・「小金井市障害福祉関係機関ネットワーク図（資料参照）」について、事務局（高田係長）より説明をお願いしたい。</li> </ul>
事務局（高田）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秦委員からのご意見をもとに事務局で作成。資料は完成版ではなく、たたき台として活用していただきたい。不十分な部分も多くあると思うので、協議をお願いし、詳しいネットワーク作りへとつなげていただきたい。</li> <li>・さらにどのようなサービスを提供しているのか、電話番号の掲載などを加え、「福祉のてびき」に掲載したり、窓口で配布するなど検討できるのではないかと考える。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ不十分な内容とはなっているが、これをたたき台として充実した内容の一覧表を作成し、小金井市の社会資源がわかるようになるとよい。</li> </ul>
秦委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早速、取り上げていただいたことに感謝する。</li> <li>・保健所は、極めて公衆衛生的な機関であり、医療機関の枠ではなく、相談支援の中の一部として表記してほしい。</li> <li>・現状と課題の表については、異なるレベルの内容が一緒に入っているため、わかりにくいと感じた。小金井市の課題なのか、施設の問題なのか、いろいろなレベルの課題の表記でわかりにくいいため、整理の仕方をもう少し検討したほうがよいと思う。</li> <li>・現状については、これまでの協議会の中でサービスの内容を中心に報告し合ったはず。事業所がどのような相談事業を行なっていて、どのような法的根拠で行なっているのかなどを報告し合ったので、それを整理した中で、特別な現状の課題をあげた方がいいのではないかと感じた。</li> <li>・知らない方が見たときにわかりやすい方がいいのではないかと（施設の内容など）。</li> </ul>
事務局(熊倉)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の報告については、「ネットワークを中心に」として委員各位へ報告をお願いしていた。そのため、第3回は現場のネットワークについて、第4回は現場の報告となり、第3回と第4回の報告されている内容に差異が生じてしまった。</li> <li>・富澤委員の報告の段階では、施設の紹介というよりも地域の精神障害の課題についての報告となっているため、このような表記となっている。</li> <li>・事務局からの報告依頼の内容が不明確であったことが原因とし、謝罪する。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長としても、目標設定が不明確のままであったことに責任を感じている。</li> <li>・今後、目標設定を明らかにして、委員各位より必要に応じて資料の提供など</li> </ul>

	<p>再度お願いすることになると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここからは現状と課題について、自由に意見交換を行ないたい。</li> </ul>
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「小金井市障害福祉関係機関ネットワーク図」のような図が出来上がるのとはとてもよいと思う。</li> <li>・しかし、障害福祉課以外に相談できる場所が年齢別につながっている関係図になった方がよいのではないか。今のままでは、自分自身で開拓してアクセスして行かなければならないような内容になっている。市役所、保健所そして地域の支援センターがあって、年齢によってこのような体系になっているということが示されている方がよいのではないか。その中で、このようなサービスがあるということを表記していくことはどうか。こちらは、個人へ対応できる内容。</li> <li>・「小金井市障害児者教育・福祉ネットワーク関連図」は、組織的に対応する時にその個人を組織でどのように拾いながら、連携するののかという構造図のような形で見えてきている。ただ、複雑になってしまっているの、この先に行き詰ってしまっている。</li> <li>・このような関係図を作成すると、就学前や高齢期のサービスは弱いことが見えてくる。</li> <li>・学齢期でも、放課後や土日の過ごし方は課題。小金井市では、障害児の学童クラブの利用が小学校 4 年生までとなっているが、もう少し延長した方がよいのではないかということなども考えられる。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークの関連図を作成していくと、小金井市の課題が見えてくる。</li> </ul>
秦委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現段階でのネットワーク図では、不足している部分が多くある。保健センターや子ども家庭支援センターなどの記載や小金井市は、小児科の先生がとても熱心であることなども含める必要があるのではないか。</li> <li>・ネットワーク図の作成は、とてもよいことだと思うので、今後プラスしていくことで、充実したものできる。</li> </ul>
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害を抱えながらも、ボーダーラインで手帳が取得できないケースが全体でどの程度の数なのかデータを出しながら議論を重ねる必要がある。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秦委員からの事例報告にもあったが、発達障害とはっきり認識されないでまま就労して、問題が生じてしまうことも多くある。</li> </ul>
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校には、小・中・高と連携をとるために、コーディネーターが存在するが、人員配置も少なく充分機能しているとは言えない状況。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとつの図だけでまとめるのではなく、階層またはレベル別に作成していくことも必要か。</li> </ul>
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのどちらで考えていくのかということに苦慮している。皆さんにも加えていただきながら、広げていきたいと思っている。</li> <li>・分野についても妥当かどうかも含めて検討していきたい。</li> </ul>
大久保委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験はないが、もし親としての立場で考えた時に、小金井市の中で将来にわたってどのように支援してもらえるのかが見えていると安心感が持てる。市役所でそのような図をもらえたら心強い。相談の方向性も見える。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図の作成にあたって前提をどうするのかということを見ると、どのようなハンディキャップの子どもからスタートするのか、どのようにその子どもが年齢を経ていくのかということ想定した上で、施設配置や機関などを並べてあるような図であるとありがたい。</li> <li>・障害の種別も含めて、表記されているとよいと思う。</li> </ul>
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害種別にしようと考えてはみたが、複雑になってしまい難しさがあつた。示し方を悩んでいる状況。</li> </ul>
大久保委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談機関も含め、目安を作ることは必要と感じる。</li> </ul>
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害種別での表記も検討してみようと思う。</li> </ul>
事務局（熊倉）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・越永委員からも情報提供の部分と、親御さんへの支援ということについて意見が出されていたこと報告する。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後どのように活用するのかということが必要。困った時に、手に取れるものにもすることもひとつでもある。</li> <li>・本日出された意見をもとに、もう一度整理を行なうこととする。</li> <li>・議題 2(2)へつなぐ。</li> </ul>

## (2) 自立支援協議会の運営内容について

伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで協議を重ねてきたが、共通の着地点を見つけることは、なかなか難しくもあつた。しかし、その中でも各現場で課題について、不十分な部分もあるが、一定程度の整理はできたのではないか。ネットワーク図については、いくつか出されているたたき台をもとに今後膨らませていければと思う。今回の会議で現委員の任期は満了となるが、整理し、まとめたポイントや課題について、今期委員の協議結果として次期協議会へ引き継ぐ。</li> <li>・今後のテーマやできそうなこと、ネットワークとして提案したいことなど、次期自立支援協議会のテーマや運営内容について、継続審議を重ねてほしいというものがあればお願いしたい。</li> <li>・一昨年は、障害者計画などの目標値がはっきりとしていたが、今年度は試行錯誤しながら進めた協議会となった。しかし、最終段階では、現状と課題についての情報を共有することができたのは一定の成果だったのではないか。</li> <li>・この2年間の任期をふりかえり、ご提案をお願いしたい。</li> </ul>
中村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の具体的な作業としては、例えば1歳半の健診後に何らかの障害が発覚した後に、このような流れがあるというものを示せるようなものを作りあげていく方向なのか、それともそれぞれの事業所が抱えている問題も含めて小金井市の資源を有効活用できるようなネットワーク作りを考えていくという方向なのか、どちらを向いて話しを進めていくのかよくわからない。</li> <li>・また、突如「支援センター連絡会」についての報告を受けても、そこで何について話しするのか見えなかった。</li> <li>・小金井市の中にあるネットワークについて動いていくのか、それとも市民に対して、自分自身が当事者になった時に安心できるようなものを作っていくのかどちらなのだろうか。</li> </ul>

伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重なる部分もあると思われる。</li> </ul>
佐久間副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所のネットワークの構築についての図と、ライフステージに合わせた図を別個に作ることになるかもしれない。</li> <li>・当初の目的がぼやけてしまったことについては、お詫びする。</li> <li>・現状、社会資源不足の問題がある。今ある社会資源を有効利用して、その社会資源同士がそれぞれ風通しよく連携を保ちながら、市民の方への支援を行なっていきたいということを中心としていた。そのためには、どのような資源があり、どのようなことを実際に行なっていて、それぞれどのような課題を抱えているのか出し合っていくことが必要。</li> <li>・秦委員から現状と課題等をまとめた表についてわかりにくいというご意見をいただいたが、これから整理していく中から抽出し、そしてまとめていくということによいのではないだろうか。</li> <li>・平成 24 年度から実施予定の「保健福祉総合計画(仮称)」は、障害福祉・介護福祉・地域福祉・健康、医療の分野を総合的に策定していくことは一定決まっている。ただ、1 年目に行なったように障害は障害で検討していかなければならない。そのための作業部会のようになってしまうが、自立支援協議会の中で障害福祉についての計画を練っていかなければならない。</li> <li>・現状の課題やネットワークの構築については必須になってくる。</li> <li>・「特別支援ネットワーク協議会」が設置され、11 月 9 日に第 1 回を開催。答申の中で、発達支援センターについては、触れられていない。このことは課題。</li> </ul>
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害については、具体的に示されていない。</li> <li>・就学前から学齢期は、教育委員会への相談。その後は、市へ相談となる。そこで発見されるのでは遅い。サポートしなければ、早期対応へはつながらない。</li> <li>・福祉との連携ができていない。児童相談所への相談が精一杯な現状。</li> <li>・140 人の児童をコーディネーター 1～2 名でカバーすることはとても難しい。</li> <li>・課題が多く広がってってしまうので、会議の中では、もう少し焦点をしばって協議を重ねていきたい。</li> <li>・計画の達成度について、市も責任を持って行なってもらいたい。財政の問題も同様。提言しても、提言しただけで終わってしまうのは残念。</li> </ul>
秦委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的が何なのかをはっきりさせ、お互いがみえるようにしておくことが大事なのではないかと。</li> <li>・親御さんも利用できるようなになればいいと思っているが、このようなネットワーク図には期待できる。</li> <li>・悶々としていなくてもよいような指標を示してもらいたい。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たらい回しにならないよう、責任を持って紹介できるようなものを委員各位と作成していきたい。</li> <li>・貴重なご意見を多くいただいたので、次期へとつなげる。</li> </ul>

### 3. その他

伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かご意見等あればお願いしたい。</li> </ul>
------	---



事務局（熊倉）	・事務局にて、メーリングリストの作成について検討中。今回で、任期満了のため、次回以降の会議にて委員各位に確認をとる予定。
伊藤会長	・来期は早めに開催し、協議を進めたいと思っている。
事務局（熊倉）	・配布した第 3 回の議事録は、委員各位へ送付した最終稿から、再度字体や全体の体裁を整えた部分に若干の変更があるが、内容の変更はなし。これをもって最終版となること報告。 ・第 4 回の議事録については、10 日前後の期限となってしまうが、確認期限は 2 月 1 日（月）までとし、事務局まで知らせてほしい。
事務局（高田）	・今期にて、越永委員・経澤委員・久芳委員が交替となる。 ・次回自立支援協議会にて市長からの委嘱を予定している。そのため次回の日程は、未定（市長との日程調整を要するため）。新委員の方々には、後日事務局よりご連絡する。
伊藤会長	・任期満了に伴い、経澤委員・越永委員からのご挨拶をお願いしたい。
経澤委員	～省略～
越永委員	～省略～
伊藤会長	・これにて閉会とする。
一同	・異議なし。

以上